

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人愛成会	代表者	理事長 佐々木 哲	法人・事業所の特徴	法人の「愛・行動・感謝」という基本理念に基づき、事業所として『私たちは、利用者様一人ひとりを【尊重】し、【自分らしさ】と【生きがい】を持って、安心した暮らしが継続できるよう支援します』の理念を掲げ、ご利用者様にとって安心と信頼を得られる福祉サービスの実践に努めます。
事業所名	小規模多機能ホーム 自由ヶ丘	管理者	佐藤 史		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	2人	1人	1人	1人	0人	3人	4人	13人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	課題や問題に対して、速やかに対応・改善することができるように取り組んでいきたい。また、職員として臨機応変に対応できるスキルを身につけられるように研修参加も含め自己研鑽に努めていきたい。	スタッフ個々に必要な研修に参加するように取り組んできた。少しずつでもスキルアップできるように積み重ねていく必要があると思う。	一生懸命取り組んでいることが理解できた。職員の自己評価が低いように思う。改善計画の実行期間が短いため内容が似たようなものになるのは仕方ない。	自己評価の結果を踏まえ、スタッフ個々にできることを増やしていく取組みを事業所として検討し実践していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	利用者のみならず、事業者と関わる人にとって居心地の良い環境となるよう努めていきたい。	事業所内に季節に合わせた飾り付けを行ったり、温度・湿度管理、明るさにも配慮を行い、快適な空間作りや対応に努めてきた。	時折、道案内や他事業所の場所について訪ねて来る人もいるので、特別入りにくいということはないのでは。玄関にすぐ受付があるのは良いと思う。	季節を感じてもらえる雰囲気心がけ、居心地の良い空間作りに努めていく。
C. 事業所と地域のかかわり	事業内容や相談窓口としての機能について、地域に知ってもらえるように積極的に働きかけていく。	事業所についての周知に努めてきたが、地域に広く知ってもらうまでには至っていないように思うため、引き続き取り組んでいく必要がある。	町内会の側溝掃除に積極的に参加してもらって感謝している。事業所で主催した合同勉強会に町内からも数名参加した。	事業内容や相談窓口としての機能について、地域に知ってもらえるように積極的に働きかけていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域の行事やイベントに参加して交流を図っていくようにする。また、地域の心配の方の支援についても積極的に働きかけていく。	可能な限り地域交流に努めてきたが、交流する機会そのものを見つけ出すことも難しいところもあった。	地域の行事に参加する機会があった。	地域と交流をする機会を探り、積極的に参加していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	地域の心配の方についての情報交換や支援について検討する場として、運営推進会議を有効活用していきたい。	運営推進委員の方の会議への出席率も高く、地域の方と情報交換する機会となっている。今後は、より一層有効的な機会となるよう努めていきたい。	事業所は一生懸命取り組んでいると思う。地域の心配な方に声をかけたりしている。必要に応じ制度等の説明もお願いしたい。	事業所と地域との情報交換の場として、運営推進会議を有効活用していきたい。
F. 事業所の防災・災害対策	事業所で実施する消防訓練に、防災協力員として委嘱している地域の方にも積極的に参加してもらうように働きかけていくようにする。また、地域の防災訓練が行われる際には、参加するようになりたい。	地域の方と一緒に防災・災害対策に取り組む機会を確保することができなかった。	町会でも今後消防訓練を開催したいと思い準備している。敷地内事業所合同の消火訓練を実施したが、今後、地域の方にも参加して欲しいと思っている。	防災・災害対策に関し、事業所と地域が交流を図っていくことで協力体制強化につなげていきたい。